

さくら湖管理ニュース

No.69
8月
2007年
発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

さくら湖自然教室2007 開催

森と湖に親しむ旬間イベント『さくら湖自然教室2007』が7月29日(日)に開催され、今年は45家族140名の方々に参加いただき、さくら湖周辺は元気な子供たちで賑わいました。はじめに4コース(昆虫・水生生物・水上探検・野鳥)に分かれ、自然教室が行われました。暑い中でしたが、それぞれのコースのインストラクターの先生方から特徴や観察の仕方などを教えていただき、子供たちの真剣に取り組んでいる姿が印象的な自然教室となりました。後半のダム施設見学では、普段は入ることの出来ない操作室やダム堤体などを見学し、試験室ではパックテストで簡単な水質試験をしたりアオコを顕微鏡で見たり、展望広場では三春ダムの大きさやはたらき等、子供たちだけではなく大人の方も改めて発見することがあったのではないのでしょうか。残念なことに閉会式は、突然の雷雨となり会場で行うことが出来ませんでした。無事ケガや事故等も無く、さくら湖自然教室が終わることができました。スタッフ一同皆さまのご協力に感謝いたします。



自然教室

(昆虫観察コース・水生生物観察コース・水上探検コース・野鳥観察コース)

昆虫観察コース



向山森林公園に仕掛けたトラップにかかっている虫を捕まえました。カブトムシやクワガタを見つけた時の子供達の嬉しそうな顔が印象的でした。かなり暑かったのですが、元気いっぱいの子供達と一緒にいたので山を歩くのが楽しかったです。

水生生物観察コース



大滝根川で魚や水生生物の観察をしました。親子で夢中になってアメンボやドジョウ・オイカワなど捕まえていました。「こんなの捕まえた！これは？」など先生に聞いたりしながら興味津々に観察していました。

野鳥観察コース



管理所の周りにたくさん飛んでいるイワツバメや木のてっぺんに止まっているホオジロなどを観察できました。参加した方々は、インストラクターの本田さんと橋本さんによるさくら湖周辺で見られる鳥の説明に興味深く聞いていました。

水上探検コース



さくら湖にEボートを浮かべ探索しました。最初は子供たちも緊張した表情でボートに乗船していたのに、終わりの頃になってみるとみんな笑顔になっていて、夢中でパドルを漕いでいる姿がとても印象的でした。

ダム施設見学

自然観察教室の後に普段は入れない堤体内や操作室などのダムの施設の見学を行いました。

堤 体



ダム本体の65m下（ダム建設前に大滝根川が流れていた場所）にエレベーターで降り行き、堤体内に設置されている機器や急な階段などを見学をしました。

参加者の皆さんの第一声は「すずしい〜！」気温30℃を超える外から約10℃の堤体の中へ入ってくると汗もひき、スッキリした気持ちで見学できたのではないのでしょうか。

操 作 室



操作室では、体制に入った時どのような経緯でダム操作を行うのかを説明しました。

もうちょっとわかりやすい説明の仕方があったのでは？と激しく自己嫌悪(-_-)♫

また、CCTV操作卓では自分達の思い思いの箇所に視点を定め、カメラを操作しモニターを見る様は、さながら小さなダム管理職員の誕生を感じずにはいられないほどでした。

展 望 広 場



さくら湖とダム堤体を見渡せる展望広場で、ダムの役割について説明しました。今にも雨が降り出しそうな天気の中でしたが、熱心に聞いていただきました。



水 質 試 験 室



今年は、CODパックテストで水の汚れについての説明と、写真と顕微鏡で植物プランクトンの説明を行いました。

特に、顕微鏡を使用しての植物プランクトンの説明については、当日さくら湖で繁殖している植物プランクトンを、実際子供達に顕微鏡を覗いてもらいながら説明を行ったので見学というよりは体験というかたちになりました。



参加者のみなさん、スタッフのみなさん お疲れ様でした。また、来年みなさんとお会いするのを楽しみにお待ちしております。



福井企画部長 着任 挨拶



8月2日 福井企画部長が来所され、着任のご挨拶をいただきました。

7月2日付で企画部長となりました福井と申します。宜しくお願いいたします。

ダムの管理とは、非常に気を遣う仕事でございます。少ない人数でいろいろ大変なことも多いと思いますが、健康と安全に注意されてしっかりやっていただければと考えております。

私のおります企画部は、なかなか皆さんと接する機会が多くはございませんが、現場で苦勞されておられる、それぞれの管理所、事務所の皆さまが、しっかり仕事を快適にさせていただけるような環境づくりのお手伝いをするのが企画部の仕事でございますので、そういうことで、また皆さまのお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

この三春ダムが地域に愛されて、これからもしっかり役割を果たして頂けるよう、また、皆さんのご活躍をお願い致しますと共に、活動等をしっかりサポートしていきたいと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。

(ご挨拶より要約)

夏休み前安全点検 実施

三春ダム周辺は公園や親水施設が整備され、レクリエーション活動の場として多くの人々に利用されています。それをふまえ、毎年利用者が増加する夏休み期間前に、さくら湖周辺の公園や親水施設を安全に利用していただけるように、点検や不具合箇所の補修を行っています。

今年は、7月9日から11日にかけて、19箇所の公園や施設で安全点検をおこないました。そのうち、三春町で管理する公園等については、三春町役場の方と合同で点検を行いました。主な点検内容としては、橋や通路・階段を歩くとき危険がないか、利用するときの注意や危険箇所が表示されているか、手すりもしっかりしているか等、利用する上で危険がないかどうかの確認です。点検の結果、さくら湖周辺の公園や親水施設においては、大きな異常・不具合箇所等は見られませんでした。軽微な不具合等については補修等を施しました。



三春ダム管理所では、今後も定期的に巡視・点検を行い、施設利用者が安全で快適に利用できるように、維持管理を心がけていきます。

三春ダム周辺の公園・施設等の利用に当たっては、安全に注意し、マナーを守って楽しく利用して頂けるようご協力をお願いいたします。



親子で三春ダムスケッチ



8月のある日、展望広場でスケッチを楽しむ親子を見かけました。夏休みの宿題の絵を描くために郡山市内から来られたそうです。朝からジリジリと強い日差しが照りつける中、汗を拭いながら重厚な埴体と青々と繁る周辺の木々をそれぞれの感性で描いていました。



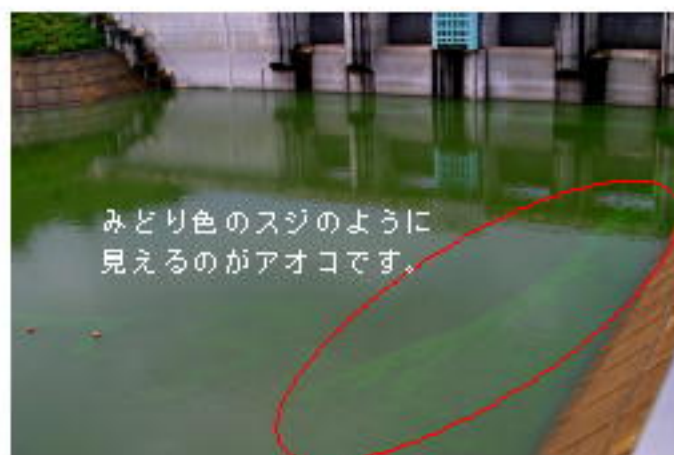


モチちゃん&れんくんの なぜ?なに?さくら湖



Q. 先日三春ダムに行ったら、さくら湖にみどり色の粉のようなものが浮いていたけど、なに?

A. “アオコ” といいます。アオコは植物プランクトン的一种で、植物プランクトンが異常増殖をしてアオコとなります。植物プランクトンが成長するには、植物と同じように「栄養」「光」「温度」の3つの条件が必要となります。植物プランクトンの場合、家庭排水や畜産排水などに含まれる窒素やリンが栄養となり川から貯水池に流れ込みます。そして、夏季は水面に近い場所は、光もあり水温も高くなるので植物プランクトンは増殖して



アオコとなります。また、貯水池に発生するアオコは、その年の水温や水質の状態などによって発生する量や場所、種類や量が違ってくるようです。

今年のさくら湖のアオコの状況は来月号で詳しくお伝えします。



三春ダム資料館からのお知らせ 『さくら湖自然教室2007』写真展 開催中



7月29日に行われた『さくら湖自然教室2007』の写真展を8月31日(金)まで開催しております。自然教室やダム施設見学の各会場の様子や子供たちの夢中になって観察に取り組んでいる表情などをご覧ください。また、写真をご希望の方には実費にて配布も行っております。

7月の見学者

- ・ 葛尾村立葛尾小学校 4年生(15名)
- ・ 本宮市立白岩小学校 4年生(44名)
- ・ 田村地区小学校教育研究会
特別活動教育研究部(12名)



本宮市立白岩小学校のみなさん

俳句ポスト作品紹介

七夕の
飾りの元に
生まれし
つばめ
三春のダムが
子らのふるさと

ミンミンと
せみが
いっばい
ないてるよ
命を
たいせつに



編集後記

毎日、暑い日が続き、皆さん夏バテしていませんか? ホント、暑くて朝からイヤになっちゃいますよね。こんな夏の朝、通勤途中で見るとアサガオを楽しみにしています。庭先に涼しげに咲くみずいろのアサガオを見ると清々しい気持ちになってきます。来年は、自宅の庭でアサガオを咲かせてみようかなと考えている今日この頃です。(石井)



編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供をお待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内 403-4

TEL0247-62-3145 FAX0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>